

会計名 一般会計			市民講座開設事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	北部市民センター		
10	5	8					担当係	北部市民センター		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。			主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期と後期に分けて約3か月間で開設し、市民が気軽に学習活動に参加できる場を提供する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	市内在住・在勤または在学の人			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 102人		・市民講座開設数 3講座 ・市民講座受講者数 50人 ※前期3講座中止		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 66人		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 102人		
成果		受講者の知識・教養の向上、技術の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。								
課題		市民講座受講後の受講者の施設利用を考慮し、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る必要がある。								
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値		
成果指標	市民講座受講者数（人）				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
指標					102	50	66	102	100	
他市との比較検証	近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		597	335	506	488	合計	505,791 円		
	財源	特定財源	76	24	53	64	報償費	312,000 円		
		一般財源	521	311	453	424	需用費	93,111 円		
	職員人件費 ②		5,391	3,546	6,056	0	役務費	19,000 円		
	総事業費（①+②）		5,988	3,881	6,562	488	使用料及び賃借料	81,680 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0		講座受講料						
5年度以降の事業費見込		0								

会計名			市民講座開設事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	北部市民センター
款	項	目		担当係	北部市民センター
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	各種講座の開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	時代の変化に対応したプログラムの提供など、市民の生涯学習活動を支援するために市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き各種講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名 一般会計			学習発表会実施事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	北部市民センター		
10	5	8					担当係	北部市民センター		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	北部市民センターの利用団体が日頃の学習成果を発表・展示することにより、学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図る。			主たる内容	学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表等を年1回、北部市民センター全館で実施する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	社会教育法							
		対象者	北部市民センター利用団体及び地域住民		事業期間	平成2年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		11月10日（日）開催 ・参加団体数 16団体 ・参加者数 220人 ・入場者数 410人		11月8日（日）中止		11月14日（日）中止		11月13日（日）開催 ・参加団体数 16団体 ・参加者数 220人 ・入場者数 410人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
成果		利用グループが日頃の学習成果を作品展示、芸能発表等を実施することにより、利用グループの交流と親睦の輪を広げることができ、地域住民との交流と親睦が深められた。								
課題		学習発表会の参加者数、入場者数は、ここ数年で増減を繰り返している。増員のための施策が求められる。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標		参加団体数（団体）			16	—	—	16	16	
成果指標		来館者数【参加者数+入場者数】（人）			630	—	—	630	630	
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果を発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。※令和3年度は全て中止								
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		346	0	0	349	合計 0円			
	財源	特定財源	0	0	0	0				
		一般財源	346	0	0	349				
	職員人件費 ②		2,696	1,307	2,650	0				
	総事業費（①+②）		3,042	1,307	2,650	349				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0								
5年度以降の事業費見込		0								

会計名			学習発表会実施事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	北部市民センター
款	項	目		担当係	北部市民センター
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	北部市民センターの利用団体である市民が、日頃の学習成果を発表・展示することで学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図るため、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	北部市民センターの利用団体で構成される実行委員会に委託し、活動の充実・活性化を図り、学習意欲の一層の向上や参加促進を行い、効率的な運営を行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	学習成果の発表の場の提供など市民の生涯学習活動を支援するために市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	学習発表会を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、学習発表会を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			施設管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	北部市民センター	
款	項	目					担当係	北部市民センター	
10	5	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	生涯学習施設（北部市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。			主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例						
	対象者	市民			事業期間	昭和62年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・北部公民館利用者数 15,994人 ・施設利用率 22.6%		・北部公民館利用者数 5,368人 ・施設利用率 13.1%		・北部公民館利用者数 8,101人 ・施設利用率 15.6%		・北部公民館利用者予定数 16,000人 ・施設利用予定率 22.7%	
成果		身近な学習施設である北部市民センターで、公民館利用者が気軽に利用できるよう住民の利便を図り生涯学習の場を提供できた。							
課題		施設利用者数が減少傾向にあり、市民講座参加者などに新たなサークル活動を促すなど、公民館利用者数、施設利用率を増やす施策が求められる。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標	北部公民館利用者数（人）			15,994	5,368	8,101	16,000	16,000	
成果指標	施設利用率（%）			22.6	13.1	22.7	22.7	22.7	
他市との比較検証	近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。								
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費①		12,861	13,796	12,816	13,905	合計	12,815,630円	
	財源	特定財源	1,148	699	855	1,104	需用費	2,470,512円	
		一般財源	11,713	13,097	11,961	12,801	役務費	170,208円	
	職員人件費②		6,161	5,973	6,056	0	委託料	10,074,678円	
	総事業費（①+②）		19,022	19,769	18,872	13,905	使用料及び賃借料	100,232円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		市民センター使用料					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設改修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	北部市民センター	
10	5	8					担当係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	公共施設維持保全計画等に基づき、施設の改修等を行う。			主たる内容	【FM】老朽化した空調設備のリニューアル工事を行う。			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者				事業期間	～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・【FM】エレベーター更新工事 ・駐車場通路舗装修繕 ・多目的トイレ自動ドア修繕		_____		・【FM】空調設備更新工事		_____	
成果		施設及び設備の整備を行い、生涯学習施設として良好な機能を維持した。							
課題		施設の老朽化に伴い、随時整備を行う必要がある。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
		元年度	2年度	3年度	4年度	6年度			
成果指標	工事件数（件）	3	—	1	—	—			
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		18,235	0	14,878	0	合計	14,878,050 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	14,878,050 円	
		一般財源	18,235	0	14,878	0			
	職員人件費 ②		2,696	0	0	0			
	総事業費（①+②）		20,931	0	14,878	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							